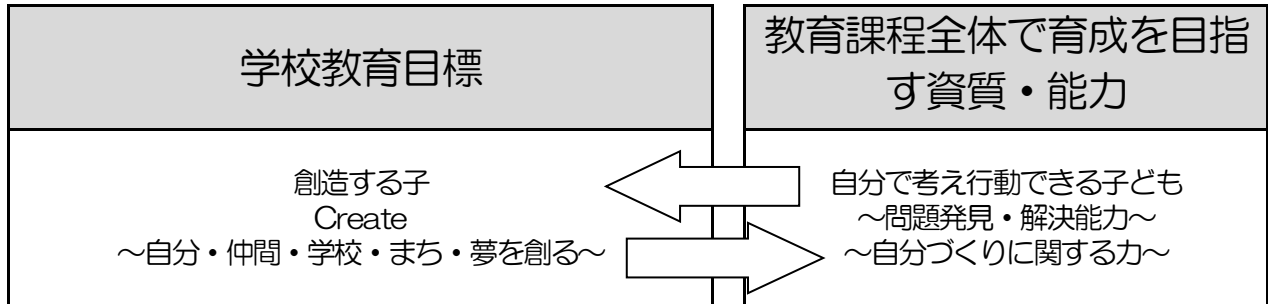


2 学力向上アクションプランの具体例

横浜市立川和東小学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



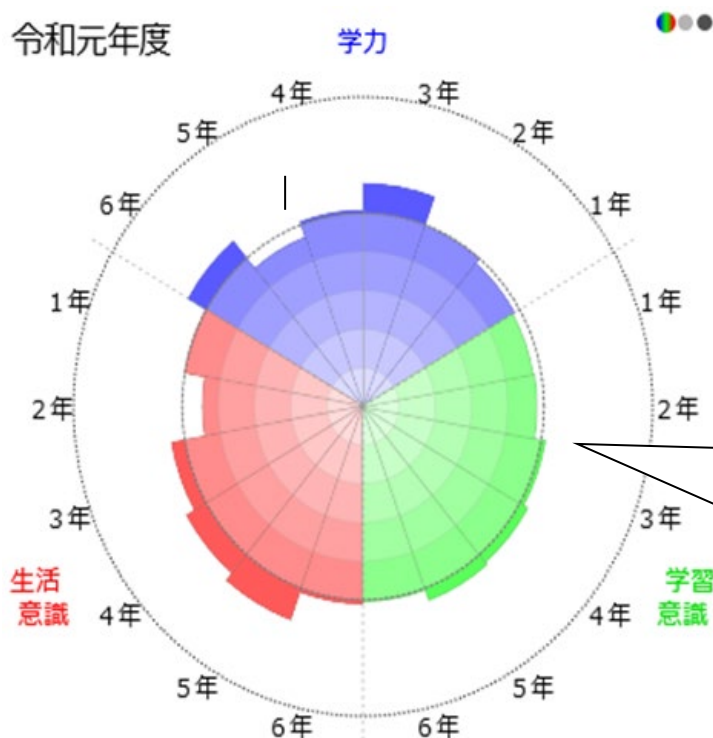
(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>◇一人の児童を徹底して大切に、多様性を生かしたかかわりで、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(学力向上・特別支援) 児童一人ひとりの特性を見取り、個に応じた学習方法の工夫や指導方法を改善し、問題解決的な学びを通して学力が向上する学校にします。 ・(児童指導) 安心・安全を第一に、児童一人ひとりと向き合い、寄り添いながら全教職員で一人の児童を育て、いじめを許さない学校風土づくりを進めます。 ・(職員協働) 教職員としての自覚をもち、相互に信頼し、専門性を高めるために切磋琢磨しながら成長し合い、「チーム川和東」を実感する学校にします。 ・(特色1) 大規模校の特色を生かし、ダイナミックな教育活動を通じて社会性を育めるようにします。 ・(特色2) まちの人や事柄とのふれあいを大切に、まちとのつながりを大切にする子が育つ学校にします。 <p>◇次のキーワードを大切にしながら、子どもの資質・能力を高めていく学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメント、主体性、特別支援教育、ユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン、自主的授業公開、教科分担制、少人数指導、GIGA スクール

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査の結果を分析し、課題を教員で共有し、授業改善で学力向上に取り組むとともに、児童一人ひとりに応じた学習指導を行う。 ・児童が安心して学習に取り組めるようにユニバーサルデザインを意識した学習指導及び、教科担任制の授業の方法を工夫し、学年内で実施する。
担当	重点研 推進部会
	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想にともなう授業を積極的に取り入れる。

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



令和2年度の横浜市学力・学習状況調査は未実施のため、令和元年度のデータを基に、実態把握を行った。令和3年度に本校に在籍する児童は、令和元年度の4年～1年であり、現学年では、6年～3年に該当する。

本校の実態として全体的には、横浜市のほぼ平均の学力であるが、学年間でばらつきも見られる。教科ごとの学力と学習意識を比較してみると、学習意識の高さは学力の高さと概ね一致していることが結果から読み取れる。また、今年度より始まるGIGAスクール構想に先駆け、令和2年度では、児童の実態に合わせてながら、ICTを活用した学習や環境整備なども行ってきた。

このような現状から、今年度、学年に応じて学力のさらなる定着・向上を目指すために「1 中期学校経営方針（3）学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組」を設定した。それらに設定されたものを各学年に応じたものにするためには以下の3点に留意して確かな学力の定着を目指していく。

- ① 学年ごとに児童の実態を捉え、伸ばしたい資質・能力を見据えたカリキュラムを編成する。
- ② 主体的に学習に取り組めるように、子ども自らが問いを見出し解決していく授業づくりを意識し、学習の課程や成果を的確に捉えていく。
- ③ 学習の課程や成果を捉えていく手段としてICTを活用し、教師の授業改善や児童の学習の振り返りに活用していく。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組例

	育成を目指す具体的な 資質・能力	具体的取組例
低	○主体性、積極性、人と関わろうとする力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や幼稚園との交流を通して人とつながる場面を計画的に設定する。 ・学習を通して感じたことを言葉にする場面を位置づける。
中	○問題発見・解決の能力、思いや考えを伝える力、意思決定をする力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えや思いを受け止めて聞く学習場面の充実。 ・学習を通して人や物との関わり中で自分の思いや考えをもつことのできる場面を位置づける。
高	○多様性を尊重する力、様々な情報を活用・選択する力、伝え合うことで自分の力を深化させる力	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の学び合い、教え合い活動の充実。 ・事実などの解釈し自分の考えを形成したり、目的や意図に応じて伝えるべきことを整理したりする場面を位置づける。
個別 支援 学級	○個性に気付き人と関わろうとする力	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの考え方のよさや違いを認め合う子ども一人ひとりを大切に仲間づくり。 ・落ち着いて学習することができる教室環境づくり。